

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
ガラス溶融炉の電力 原単位の低減	・2007年2.87MWh/トンに対し2008年2.64MWh/トンに改善された。	左記の継続活動
ガラス溶融炉の重油 原単位の低減	・2007年0.635KL/トンに対し2008年0.641KL/トンで若干悪化したが、これは溶解オペレーションのバラツキ範囲と判断している。	左記の継続活動
CO2排出量の低減	・2008年度の実績値は計画値を約8000トン強下回った。又、2007年度より18000トン強下回り、1990年度比44%であった。	左記の継続活動
廃棄物廃棄量の低減 (リサイクル率の向上)	・AGCについてはリサイクル率100%、AGCCについてはリサイクル率95.1%でいずれも2007年度より向上した。	左記の継続活動

【添付資料1】

旭硝子高砂工場環境方針 EM1-01:01(第9版)

旭硝子高砂工場は、ディスプレイ用ガラス、半導体製造装置用部材、セラミックス製品等を製造しており、比較的大量の資源・エネルギーを使用する事業活動を行っています。

このことをよく認識し、AGCグループ環境基本方針に沿って、環境管理システム(EMS)を構築・運用し、限りある資源・エネルギーを有効に使い気候変動並びに生物多様性をも含む自然環境への影響に配慮し、以下の活動を

1. 環境管理システム(EMS)に基づいて、大気汚染・水質汚濁の予防、省資源・省エネルギー及び廃棄物の削減・リサイクル化等環境影響の軽減のための活動を推進します。
2. 環境保全に関する法令、条例及び協定等を順守するとともに、必要なときは環境影響の軽減に関する自主管理基準等を設定し、その達成に向けて努力します。
3. 環境影響の軽減に当たっては、できる限り定量的な環境目的、環境目標を設定し、その達成のために、環境改善推進計画を作成し、活動します。
4. 環境方針と環境目的・環境目標については、定期的な見直しを行い、環境管理システムの継続的な改善に努め、その有効性の維持・向上を図ります。
5. 工場働くすべての人々に対して、この環境方針を周知するとともに、一人ひとりが環境方針に基づき行動するよう、必要な教育・訓練を行いまた、この環境方針は、要請に応じて社外に開示します。

2009年1月1日
旭硝子株式会社高砂工場
工場長